

～新しい環境・人 出合いの形～

桜も満開、素敵な一年のスタートです。子どもたちは、うれしい気持ちと不安な気持ちが رفتり来たりします。新生活“友達できるかな”と、実は大人が思う以上に不安なものです。そんな初めての人間関係。その人はどんな人かな？面白いかな？優しいかな？怖いかな～嫌だな～…いろんな気持ちがあります。自分をどこまで出しても大丈夫かな？相手はどんなふうに出てくるかな？子どもは、子ども同士の関係でもいろんなことを感じます。相性の合うお友達探しに必死です。勉強もいっぱい頑張りたいですが、クラスの中にたった一人でもよいので、安心でき、楽しめる友達ができるか、不安な4月かもしれません。



新しい担任の先生は、どんな先生かな？どこまでしたら叱られる？自分のことを見てくれる？他の子どもたちへのまなざしや関わりを見ながら感じています。

“試し行動”といって、相手に向けて自分をどの程度まで受け止めてくれるか探る行為をすることがあります。この行為は、大人をイラッとさせ、わざと怒らせるような行為に見えます。この時、人格を否定しない叱り方かどうかと問われます。簡単に言うと「■●って行動は×。でも、あなたが×ではない。」ということです。子どもの心配な行為の背景の心情を理解した言葉がけがあるかないかを、子どもは見ているように思います。ついつい、感情が高まり「いい加減にしろ！」と、見捨てるメッセージをしがちです。すると、子どもの心は冷え込んで関係が悪くなります。

新しい環境になると、誰よりも一番に愛してほしい気持ちが先立ち“見捨てられやしないか”と不安の嵐に襲われます。この試し行動の時期も様子を窺いながらする子といきなりする子いろいろです。

人間関係づくりにおいて、こんな見えにくい心の疲労があるようです。

四月はお家の方たちも、新規の組織で慣れない仕事や環境の中で、適応くださりお疲れかもしれませんが、子どもたちに温かいまなざしをよろしく願います。子どもたちは楽しそうに見えますが、学校で緊張して過ごしています。ご家族皆様も、ご家庭でほっと一息つけることができるよう願っております。

試さなくてもよい、程よい距離…。程よい距離があると人は不思議と優しくなれるそうです。四月は一気に、いろいろなことが始まります。お疲れ出ませんように…♪